

実証成果 (有) かごしま有機生産組合（鹿児島県鹿児島市）

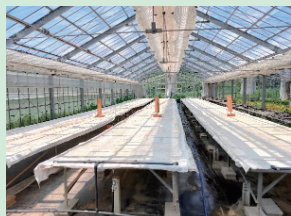
実証課題名 ハウス内環境の統合制御を活用した有機苗の安定生産による有機農業産地形成の実証

経営概要 有機育苗 0.1ha うち実証面積 0.1ha



導入技術

- ①統合環境制御システム（自動換気、細霧発生、自動加温）、底面自動給水
- ②CO₂局所施用



育苗ハウス



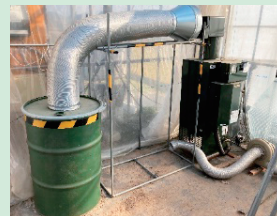
育苗状況



自動換気装置



底面自動給水装置

局所CO₂施用装置

目標

有機苗供給割合50%増加、局所CO₂施用により苗の乾物重5%増加、生産者の販売額3%増 等

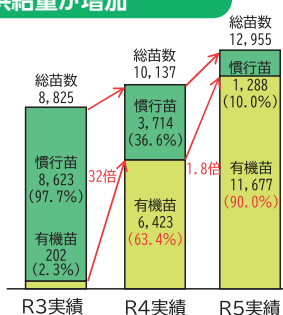
1 目標に対する達成状況

- 有機苗の供給量は事業前の約58倍に増加
有機苗供給割合も事業前の2%から90%に向上し目標達成
- 局所CO₂施用により、リーフレタスおよびキュウリ苗の乾物重が40%以上増加し、目標を達成
- 組合員生産者の販売額が14%増となり目標達成
- 統合環境制御の導入により、灌水の時間が導入前の約8%（約92%減）
労働時間全体が約14%（約86%減）と大幅に減少

2 導入技術の効果

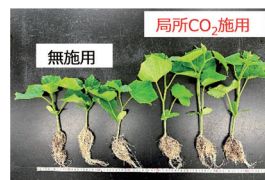
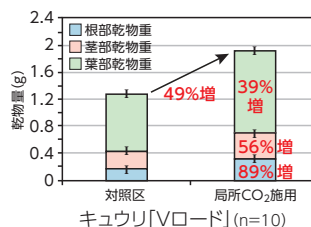
有機苗の供給量が増加

- 有機苗の供給量は、令和5年度に11,677本となり、事業前の約58倍に増加
- 苗の全供給数は、令和5年度に12,955本となり、事業前の約1.5倍に増加
- 全供給数に占める有機苗の割合は事業前の2%から90%に向上



局所CO₂施用による苗品質の向上

- 局所CO₂施用により、リーフレタスおよびキュウリ苗の乾物重が40%以上増加。根の乾物重増加による苗品質の向上

局所CO₂施用キュウリ苗

労働時間を大幅に削減

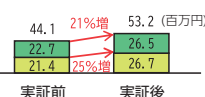
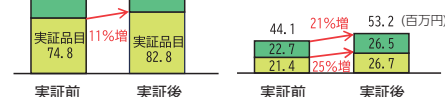
- 統合環境制御の導入により、灌水時間が導入前の約8%（約92%減）、労働時間全体が約14%（約86%減）と大幅に削減
- ハウスと事務所の往来も減少し、ほぼ1名体制であったが、休暇の確保も可能となった

(時間/ロット)

作業項目	播種	灌水	苗移動等	換気	施肥	掃除	草刈	記録	その他	合計
導入前	0.3	1.68	0.72	0.00	0.00	0.44	0.75	0.78	0.31	5.02
導入後	0.33	0.13	0.10	0.00	0.00	0.01	0.05	0.04	0.01	0.68
導入後/導入前	100%	8%	14%	—	—	3%	7%	5%	4%	14%

生産者の販売額が増加

- 苗の供給数が増加したこと等から、組合員生産者の販売額は事業前から14%増加
うち有機苗を供給した品目は11%増加
- 有機苗を供給した組合員生産者に限定すると、販売額は事業前から21%増加
うち有機苗を供給した品目は25%増加



3 事業終了後の普及のための取組

- 実証課題終了後も、有機苗の供給量を増やし安定供給することで、周辺市町村も含めた有機野菜の産地形成の核となる施設として今後も継続的に運用する。
- 南薩地区や種子島地区でも本技術を導入し、有機苗を安定供給することで、有機野菜の産地形成・拡大を目指す。

問い合わせ先

(有) かごしま有機生産組合 (Email : k-organic@chikyubatake.jp)